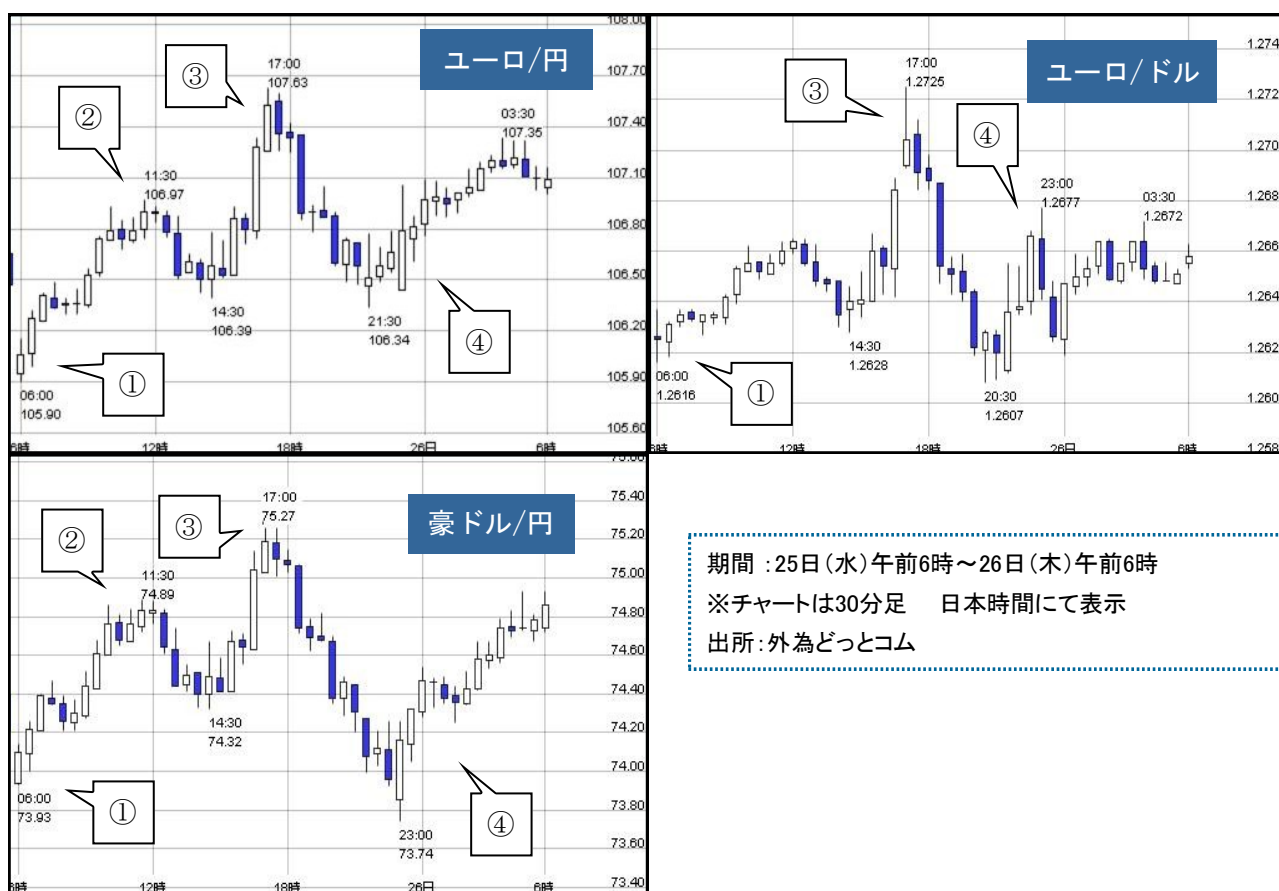


8月26日(木曜日)  
ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## 経済指標と株価で乱高下

### 25日(水)の主な推移



期間：25日(水)午前6時～26日(木)午前6時  
※チャートは30分足 日本時間にて表示  
出所：外為どっとコム

- ① 早朝に格付け会社S&Pがアイルランドの長期国債格付けを「AA-」に引き下げ、見通しをネガティブと発表。これにより欧州の金融や財政への不安が高まり、取引開始直後にユーロ/円は105.90円、ユーロ/ドル1.2616ドルまで、それぞれ下落。また動きに連れる形で、豪ドル/円も73.93円まで下げた。
- ② ゴトー(5・10日)日要因によるドル買いに加え、仙石官房長官から「首相や財務省と円高対応について協議する」と伝えられると、円高対応への期待から本邦の株価反発が期待され、ユーロ/円は106.97円、豪ドル/円は74.89円まで上昇した。だが昼過ぎに野田財務相が「日銀総裁が来るとは聞いていない」「介入についてコメントできない」と発言。円高対応への期待が後退し、クロス円は反落した。
- ③ 独8月IFO景況指数は106.7と予想(105.7)を上回り、2007年6月以来の高水準となると、ユーロ/円は107.63円、ユーロ/ドルは1.2725ドルまで上昇した。これに連れて豪ドル/円も76.27円まで上げた。
- ④ 米7月新築住宅販売件数の悪化を受け、ユーロ/ドルが1.2677ドルまで反発し、豪ドル/円はドル/円の下げに連れて73.74円まで瞬間的に下落した。しかしその後NYダウ平均が下げ幅を圧縮し、前日比でプラス圏に浮上したことと相まって、ユーロ/円や豪ドル/円は底堅い展開が続いた。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2620-1.2820ドル  
ユーロ/円: 106.80-108.50円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 74.30-75.90円

昨日は独8月IFO景況指数が予想を上回り、ドイツの景気回復基調が鮮明となった。だがアイルランドの格下げによりユーロが下落する場面が見られ、引き続きユーロ圏の重債務国に対する市場の不安は解消されていない。仮にこれらの国の格下げやドイツとの10年債利回り格差の拡大が材料視された場合、ユーロ売りの展開となることも予想される。

そのほか米国では新規失業保険申請件数の発表がある。昨晩は米株の反発に伴いユーロ/円は緩やかに上昇したことから、米経済や雇用の回復が見られ、米株が上昇するとユーロ/円には上昇圧力が働くと見られるが、悪化した場合は下落する場面もありそうだ。(川畑)

昨日は米独の経済指標に連れる動きが目立っており、本日も豪州内では手掛かり材料が無い中、主要国の株価に左右されやすい展開が見込まれる。ただ日米欧での景気減速が懸念される中では、リスク回避の姿勢が強く、上値は限定的となりそうである。(川畑)

### 本日から明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/26(木)	15:00		(独) 9月GFK消費者信頼感調査	3.9	4.0
	21:30	○	(米) 8/22までの週の新規失業保険申請件数	50.0万件	49.0万件
	26:00	○	(米) 7年債入札(290億ドル)	—	—
8/27(金)	08:30	○	(日) 7月全国消費者物価指数[前年比]	-0.7%	-1.0%
	08:30	○	(日) 7月全国消費者物価指数[前年比:除生鮮]	-1.0%	-1.1%
	08:30		(日) 7月失業率	5.3%	5.3%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com